

実習の感想

今年2月10日から一カ月、下越病院（新潟市秋葉区）で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。外来実習や病棟実習では、総合診療医が幅広い疾患に対応しながら、患者さん一人ひとりに寄り添う姿勢が求められることを実感しました。また、診療所や訪問診療の実習を通じて、地域医療における家庭医学の役割の重要性を学び、医療は病院内にとどまらず、患者さんの生活の場へと広がるものであることを再認識しました。

この実習を通じて、疾患のみを見るのではなく、内科的な観点から全身を診察し、さらに患者さんの生活や人生に想いを馳せながら介入していくことの大切さを学びました。今後、医師として成長していく中で、総合診療科で培った視点を大切に、患者さんの人生に寄り添いながら診療できる医師を目指していきたいと思います。病院のみなさま、そして関わってくださった患者さんにはたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。